

6章 図形と式

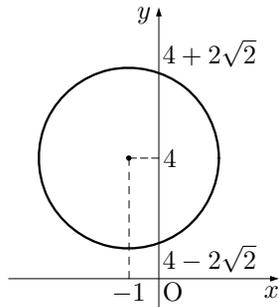
BASIC

384 (1)  $(x-0)^2 + \{y-(-2)\}^2 = (\sqrt{5})^2$   
 $x^2 + (y+2)^2 = 5$

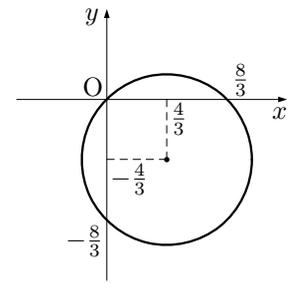
(2) 半径は、 $\sqrt{(1-4)^2 + (4-3)^2} = \sqrt{10}$   
 よって  
 $\{x-(-2)\}^2 + (y-3)^2 = (\sqrt{10})^2$   
 $(x+2)^2 + (y-3)^2 = 10$

(3) 円の中心の座標は、与えられた2点の中点だから  
 $\left(\frac{0+4\sqrt{3}}{2}, \frac{3+7}{2}\right) = (2\sqrt{3}, 5)$   
 半径は、この中心と点(0, 3)との距離だから  
 $\sqrt{(2\sqrt{3}-0)^2 + (5-3)^2} = \sqrt{16} = 4$   
 よって、求める円の方程式は、  
 $(x-2\sqrt{3})^2 + (y-5)^2 = 4^2$   
 $(x-2\sqrt{3})^2 + (y-5)^2 = 16$

385 (1)  $(x^2+2x) + (y^2-8y) + 8 = 0$   
 $(x+1)^2 - 1 + (y-4)^2 - 16 + 8 = 0$   
 $(x+1)^2 + (y-4)^2 = 9$   
 $(x+1)^2 + (y-4)^2 = 3^2$   
 よって、中心  $(-1, 4)$ 、半径 3  
 また、 $x=0$  のとき、 $1^2 + (y-4)^2 = 9$  より  
 $(y-4)^2 = 8$   
 $y-4 = \pm\sqrt{8} = \pm 2\sqrt{2}$   
 $y = 4 \pm 2\sqrt{2}$



(2)  $x^2 + y^2 - \frac{8}{3}x + \frac{8}{3}y = 0$   
 $\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 - \frac{16}{9} + \left(y + \frac{4}{3}\right)^2 - \frac{16}{9} = 0$   
 $\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \left(y + \frac{4}{3}\right)^2 = \frac{32}{9}$   
 $\left(x - \frac{4}{3}\right)^2 + \left(y + \frac{4}{3}\right)^2 = \left(\frac{4\sqrt{2}}{3}\right)^2$   
 よって、中心  $\left(\frac{4}{3}, -\frac{4}{3}\right)$ 、半径  $\frac{4\sqrt{2}}{3}$   
 また、 $x=0$  のとき、 $y^2 + \frac{8}{3}y = 0$  より  
 $y = 0, -\frac{8}{3}$   
 $y=0$  のとき、 $x^2 - \frac{8}{3}x = 0$  より  
 $x = 0, \frac{8}{3}$



386 (1) 求める円の方程式を、  
 $x^2 + y^2 + ax + by + c = 0$   
 とおくと、この円が、与えられた3点を通ることより  

$$\begin{cases} 1+1+a-b+c=0 \\ 1+9-a-3b+c=0 \\ 4+0-2a+c=0 \end{cases}$$
  
 整理すると、  

$$\begin{cases} a-b+c=-2 \\ -a-3b+c=-10 \\ -2a+c=-4 \end{cases}$$

これを解いて、 $(a, b, c) = \left(\frac{3}{2}, \frac{5}{2}, -1\right)$   
 よって、求める方程式は、  
 $x^2 + y^2 + \frac{3}{2}x + \frac{5}{2}y - 1 = 0$

(2) 中心の座標を  $(t, -t)$ 、半径を  $r$  とおくと、求める方程式は  
 $(x-t)^2 + (y+t)^2 = r^2$   
 と表すことができる。この円が、与えられた2点を通ることより  

$$\begin{cases} (4-t)^2 + (6+t)^2 = r^2 \\ (-2-t)^2 + (4+t)^2 = r^2 \end{cases}$$
  
 $r^2$  を消去すると、  
 $(4-t)^2 + (6+t)^2 = (-2-t)^2 + (4+t)^2$   
 これを解いて、 $t = 4$   
 $(4-t)^2 + (6+t)^2 = r^2$  に代入して、 $r^2 = 100$   
 よって、求める方程式は、  
 $(x-4)^2 + (y+4)^2 = 100$

387  $O(0, 0)$ 、 $A(1, 0)$ 、 $P(x, y)$  とすると  
 $PO : PA = 3 : 2$   
 よって、 $2PO = 3PA$  であるから  
 $4PO^2 = 9PA^2 \dots \textcircled{1}$   
 ここで  
 $PO^2 = (x-0)^2 + (y-0)^2 = x^2 + y^2$   
 $PA^2 = (x-1)^2 + (y-0)^2 = (x-1)^2 + y^2$   
 これらを①に代入して  
 $4(x^2 + y^2) = 9\{(x-1)^2 + y^2\}$   
 $4x^2 + 4y^2 = 9x^2 - 18x + 9 + 9y^2$   
 $5x^2 - 18x + 5y^2 + 9 = 0$   
 $x^2 - \frac{18}{5}x + y^2 + \frac{9}{5} = 0$   
 $\left(x - \frac{9}{5}\right)^2 - \frac{81}{25} + y^2 + \frac{9}{5} = 0$   
 $\left(x - \frac{9}{5}\right)^2 + y^2 = \frac{36}{25}$   
 $\left(x - \frac{9}{5}\right)^2 + y^2 = \left(\frac{6}{5}\right)^2$   
 逆に、この図形上の任意の点は条件を満たす。  
 よって、求める軌跡は

中心  $\left(\frac{9}{5}, 0\right)$ , 半径  $\frac{6}{5}$  の円である.

388 点 P の座標を  $(x, y)$  とすると

$$AP^2 = (x+1)^2 + (y+1)^2$$

$$BP^2 = (x-1)^2 + (y-1)^2$$

これらを  $AP^2 + BP^2 = 6$  に代入して

$$(x+1)^2 + (y+1)^2 + (x-1)^2 + (y-1)^2 = 6$$

$$(x^2 + 2x + 1 + y^2 + 2y + 1)$$

$$+ (x^2 - 2x + 1 + y^2 - 2y + 1) = 6$$

$$2x^2 + 2y^2 + 4 = 6$$

$$x^2 + y^2 = 1$$

逆に, この図形上の任意の点は条件を満たす.

よって, 求める軌跡は

中心が原点で, 半径 1 の円である.

389 楕円の方程式は

$$\frac{x^2}{4^2} + \frac{y^2}{7^2} = 1$$

$$\frac{x^2}{16} + \frac{y^2}{49} = 1$$

焦点の座標は

$$(0, \pm\sqrt{7^2 - 4^2}) = (0, \pm\sqrt{33})$$

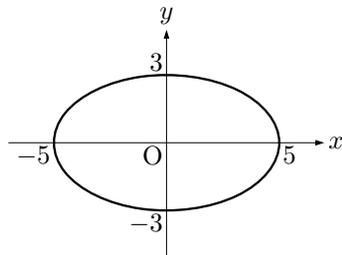
390 短軸の長さを  $2b$  とすると

$$\sqrt{5^2 - b^2} = 4 \text{ より, } b^2 = 25 - 16 = 9$$

よって, 楕円の方程式は

$$\frac{x^2}{5^2} + \frac{y^2}{9} = 1$$

$$\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{9} = 1$$



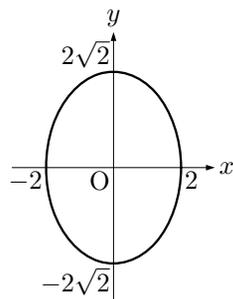
391 長軸の長さを  $2a$  とすると

$$\sqrt{a^2 - 2^2} = 2 \text{ より, } a^2 = 4 + 4 = 8$$

よって, 楕円の方程式は

$$\frac{x^2}{2^2} + \frac{y^2}{8} = 1$$

$$\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{8} = 1$$

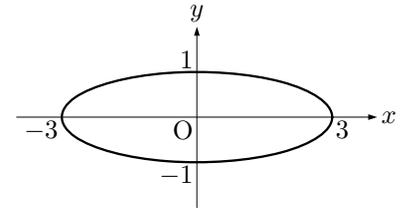


392 (1) 方程式は,  $\frac{x^2}{3^2} + \frac{y^2}{1^2} = 1$  と表せるから, 焦点の座標は

$$(\pm\sqrt{3^2 - 1^2}, 0) = (\pm 2\sqrt{2}, 0)$$

長軸の長さは,  $2 \cdot 3 = 6$

短軸の長さは,  $2 \cdot 1 = 2$



(2) 方程式の両辺を 12 で割ると

$$\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{6} = 1$$

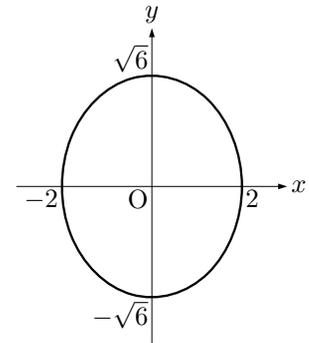
$$\frac{x^2}{2^2} + \frac{y^2}{(\sqrt{6})^2} = 1$$

よって, 焦点の座標は

$$(0, \pm\sqrt{(\sqrt{6})^2 - 2^2}) = (0, \pm\sqrt{2})$$

長軸の長さは,  $2 \cdot \sqrt{6} = 2\sqrt{6}$

短軸の長さは,  $2 \cdot 2 = 4$



393 方程式は,  $\frac{x^2}{(\sqrt{3})^2} - \frac{y^2}{(\sqrt{12})^2} = 1$  と表せるから, 焦点の座標は

$$(\pm\sqrt{(\sqrt{3})^2 + (\sqrt{12})^2}, 0) = (\pm\sqrt{15}, 0)$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm\frac{\sqrt{12}}{\sqrt{3}}x$$

$$y = \pm\sqrt{4}x$$

$$y = \pm 2x$$

394 焦点が  $x$  軸上にあるので, 求める双曲線の方程式は

$$\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1$$

とおくことができる.

主軸の長さは 2 であるから

$$2a = 2, \text{ すなわち } a = 1$$

また,  $\sqrt{a^2 + b^2} = 5$  であるから

$$1^2 + b^2 = 25$$

$$b^2 = 24$$

したがって, 求める双曲線の方程式は

$$\frac{x^2}{1} - \frac{y^2}{24} = 1$$

$$x^2 - \frac{y^2}{24} = 1$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm\frac{\sqrt{24}}{1}x$$

$$y = \pm 2\sqrt{6}x$$

395 与えられた方程式を変形すると

$$8x^2 - 5y^2 = 40$$

$$\frac{x^2}{5} - \frac{y^2}{8} = 1$$

$$\frac{x^2}{(\sqrt{5})^2} - \frac{y^2}{(\sqrt{8})^2} = 1$$

焦点の座標は

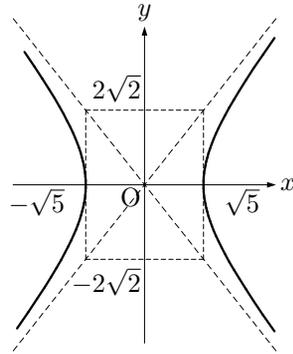
$$(\pm\sqrt{(\sqrt{5})^2 + (\sqrt{8})^2}, 0) = (\pm\sqrt{13}, 0)$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{\sqrt{8}}{\sqrt{5}}x$$

$$y = \pm \frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{5}}x$$

$$y = \pm \frac{2\sqrt{10}}{5}x$$



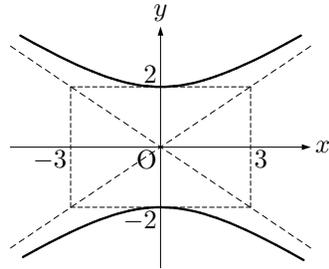
396  $\frac{x^2}{3^2} - \frac{y^2}{2^2} = -1$

焦点の座標は

$$(0, \pm \sqrt{3^2 + 2^2}) = (0, \pm \sqrt{13})$$

漸近線の方程式は

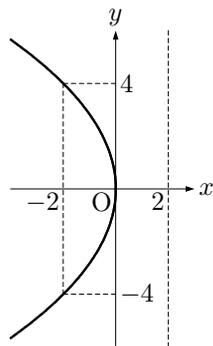
$$y = \pm \frac{2}{3}x$$



397 焦点が  $x$  軸上にあるので、求める放物線の方程式を  $y^2 = 4px$  とおくと、 $p = -2$  であるから

$$y^2 = 4 \cdot (-2)x$$

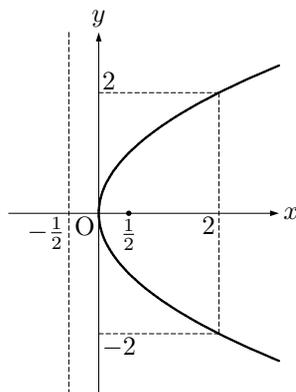
$$y^2 = -8x$$



398 (1)  $y^2 = 4 \cdot \frac{1}{2}x$

焦点の座標は、 $(\frac{1}{2}, 0)$

準線の方程式は、 $x = -\frac{1}{2}$

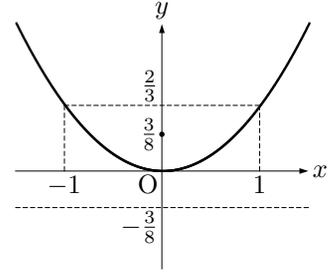


(2)  $x^2 = \frac{3}{2}y$

$$x^2 = 4 \cdot \frac{3}{8}y$$

焦点の座標は、 $(0, \frac{3}{8})$

準線の方程式は、 $y = -\frac{3}{8}$



399  $y = x + k$  を、 $x^2 = y$  に代入すると

$$x^2 = x + k$$

$$x^2 - x - k = 0$$

この2次方程式の判別式を  $D$  とすると、直線と放物線が接するための条件は、 $D = 0$  である。

よって

$$D = (-1)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-k)$$

$$= 1 + 4k = 0$$

したがって、 $k = -\frac{1}{4}$

400 求める接線の方程式を、 $y = -x + q$  とおく。

これを  $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{6} = 1$  に代入すると

$$\frac{x^2}{4} + \frac{(-x + q)^2}{6} = 1$$

$$3x^2 + 2(-x + q)^2 = 12$$

$$3x^2 + 2(x^2 - 2qx + q^2) = 12$$

$$5x^2 - 4qx + 2q^2 - 12 = 0$$

この2次方程式の判別式を  $D$  とすると、直線と楕円が接するための条件は、 $D = 0$  である。

よって

$$\frac{D}{4} = (-2q)^2 - 5 \cdot (2q^2 - 12)$$

$$= 4q^2 - 10q^2 + 60$$

$$= -6q^2 + 60$$

$$= -6(q^2 - 10) = 0$$

したがって、 $q = \pm\sqrt{10}$  であるから、求める接線の方程式は

$$y = -x \pm \sqrt{10}$$

401  $y = 2x + k$  を  $x^2 - \frac{y^2}{3} = 1$  に代入すると

$$x^2 - \frac{(2x + k)^2}{3} = 1$$

$$3x^2 - (2x + k)^2 = 3$$

$$3x^2 - (4x^2 + 4kx + k^2) = 3$$

$$x^2 + 4kx + k^2 + 3 = 0$$

この2次方程式の判別式を  $D$  とすると

$$\frac{D}{4} = (2k)^2 - 1(k^2 + 3)$$

$$= 4k^2 - k^2 - 3$$

$$= 3k^2 - 3$$

$$= 3(k^2 - 1)$$

$$= 3(k + 1)(k - 1)$$

i)  $D > 0$  のとき

$$3(k+1)(k-1) > 0$$

すなわち,  $k < -1$ ,  $1 < k$  のとき

共有点の個数は 2 個

ii)  $D = 0$  のとき

すなわち,  $k = \pm 1$  のとき

共有点の個数は 1 個

iii)  $D < 0$  のとき

すなわち,  $-1 < k < 1$  のとき

共有点の個数は 0 個

以上より

$$\begin{cases} k < -1, 1 < k \text{ のとき} & 2 \text{ 個} \\ k = \pm 1 \text{ のとき} & 1 \text{ 個} \\ -1 < k < 1 \text{ のとき} & 0 \text{ 個} \end{cases}$$

402 (1)  $-1 \cdot x + 2 \cdot y = 5$

$$-x + 2y = 5$$

(2)  $0 \cdot x + (-\sqrt{5}) \cdot y = 5$

$$-\sqrt{5}y = 5$$

$$y = -\frac{5}{\sqrt{5}}$$

$$y = -\sqrt{5}$$

(3)  $\sqrt{5} \cdot x + 0 \cdot y = 5$

$$\sqrt{5}x = 5$$

$$x = \frac{5}{\sqrt{5}}$$

$$x = \sqrt{5}$$

403 教科書 P.186 参照

この三角形の面積を  $S$  とする.

$$\frac{5+7+8}{2} = 10 \text{ であるから, ヘロンの公式より}$$

$$S = \sqrt{10(10-5)(10-7)(10-8)}$$

$$= \sqrt{(2 \cdot 5) \cdot 5 \cdot 3 \cdot 2}$$

$$= 10\sqrt{3}$$

内接円の半径を  $r$  とすると

$$\frac{1}{2}(5+7+8)r = 10\sqrt{3}$$

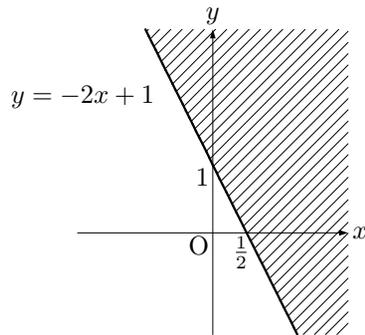
$$20r = 20\sqrt{3}$$

$$r = \sqrt{3}$$

よって, 内接円の半径は  $\sqrt{3}$

404 (1) 求める領域は, 直線  $y = -2x + 1$  の上側の部分である.

ただし, 境界線を含まない.



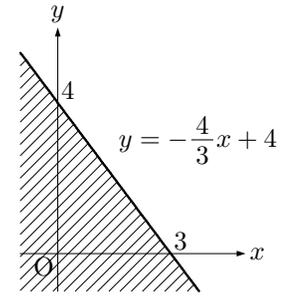
(2)  $4x + 3y \leq 12$

$$3y \leq -4x + 12$$

$$y \leq -\frac{4}{3}x + 4$$

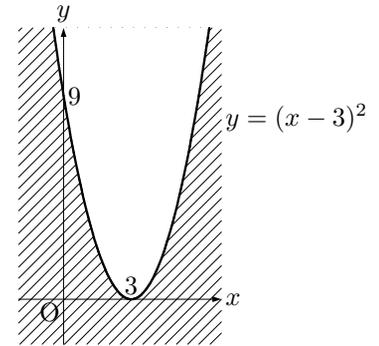
求める領域は, 直線  $y = -\frac{4}{3}x + 4$  の下側の部分である.

ただし, 境界線を含む.



(3) 求める領域は, 放物線  $y = (x-3)^2$  の下側の部分である.

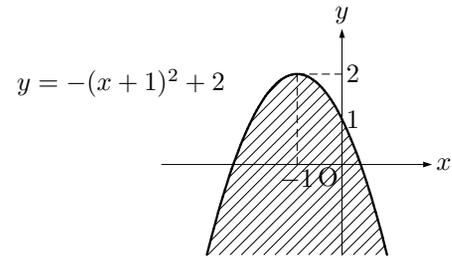
ただし, 境界線を含まない.



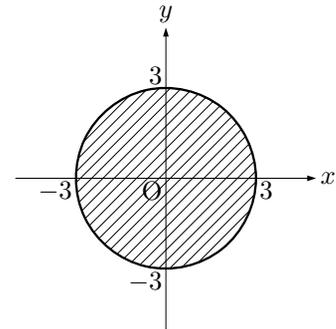
(4)  $y \leq -x^2 - 2x + 1$

$$y \leq -(x+1)^2 + 2$$

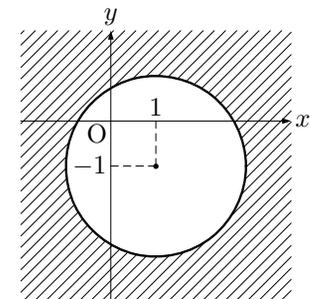
求める領域は, 放物線  $y = -(x+1)^2 + 2$  の下側の部分である. ただし, 境界線を含む.



405 (1) 求める領域は, 円  $x^2 + y^2 = 9$  の内側の部分である. ただし, 境界線を含む.

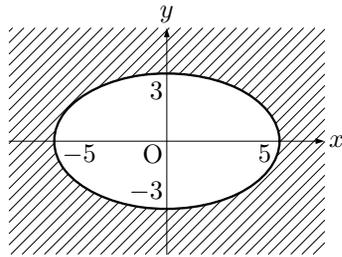


(2) 求める領域は, 円  $(x-1)^2 + (y+1)^2 = 4$  の外側の部分である. ただし, 境界線を含まない.

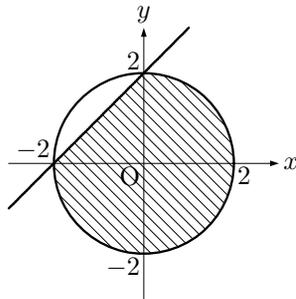


(3)  $\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{9} > 1$

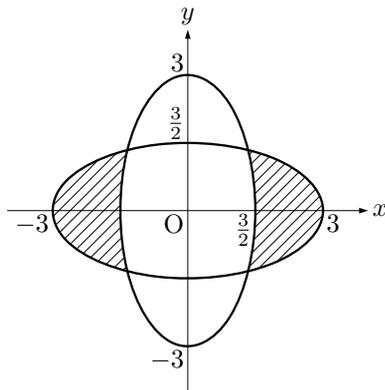
求める領域は, 楕円  $\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{9} = 1$  の外側の部分である. ただし, 境界線を含まない.



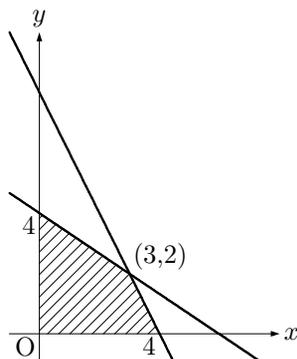
- 406 (1)  $x - y + 2 > 0$  より,  $y < x + 2$   
 これは, 直線  $y = x + 2$  の下側である. ただし, 境界線を含まない.  
 $x^2 + y^2 < 4$  は, 円  $x^2 + y^2 = 4$  の内側である. ただし, 境界線を含まない.  
 以上より, 求める領域は図の斜線部分である. ただし, 境界線を含まない.



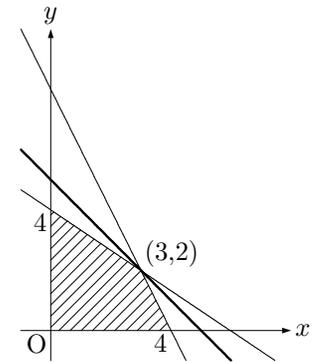
- (2)  $x^2 + 4y^2 \leq 9$  より,  $\frac{x^2}{9} + \frac{4y^2}{9} \leq 1$   
 これは, 楕円  $\frac{x^2}{9} + \frac{4y^2}{9} = 1$  の内側である. ただし, 境界線を含む.  
 $4x^2 + y^2 \geq 9$  より,  $\frac{4x^2}{9} + \frac{y^2}{9} \geq 1$   
 これは, 楕円  $\frac{4x^2}{9} + \frac{y^2}{9} = 1$  の外側である. ただし, 境界線を含む.  
 以上より, 求める領域は図の斜線部分である. ただし, 境界線を含む.



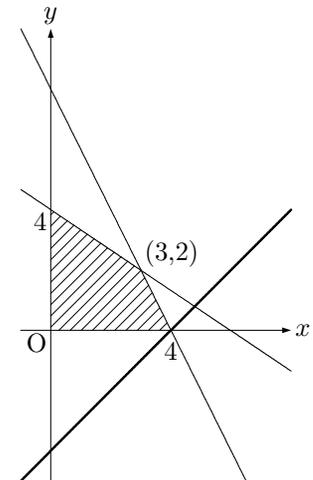
- 407  $2x + y - 8 \leq 0$  より,  $y \leq -2x + 8$   
 $2x + 3y - 12 \leq 0$  より,  $y \leq -\frac{2}{3}x + 4$   
 また, 2直線  $y = -2x + 8, y = -\frac{2}{3}x + 4$  の交点の座標は, (3, 2)  
 以上より, 連立不等式の領域を図示すると



- (1)  $x + y = k$  とおくと,  $y = -x + k$   
 この直線が図の領域と共有点を持ち, 切片  $k$  の値が最大となるのは, この直線が点 (3, 2) を通るときである.  
 よって,  $x = 3, y = 2$  のとき,  $x + y$  の値は最大となり, 最大値は,  $3 + 2 = 5$



- (2)  $x - y = k$  とおくと,  $y = x - k$   
 この直線が図の領域と共有点を持ち,  $k$  の値が最大となるのは, 切片  $-k$  が最小となるときで, この直線が点 (4, 0) を通るときである.  
 よって,  $x = 4, y = 0$  のとき,  $x - y$  の値は最大となり, 最大値は,  $4 - 0 = 4$



CHECK

- 408 求める円の方程式は  
 $(x - 2)^2 + \{y - (-2)\}^2 = 3^2$   
 すなわち,  $(x - 2)^2 + (y + 2)^2 = 9$
- 409 求める円の方程式を,  
 $x^2 + y^2 + ax + by + c = 0$   
 とおくと, この円が, 与えられた 3 点を通ることより  

$$\begin{cases} 4 + 1 + 2a + b + c = 0 \\ 9 + 1 + 3a + b + c = 0 \\ 4 + 4 + 2a + 2b + c = 0 \end{cases}$$
  
 整理すると,  

$$\begin{cases} 2a + b + c = -5 \quad \dots \textcircled{1} \\ 3a + b + c = -10 \quad \dots \textcircled{2} \\ 2a + 2b + c = -8 \quad \dots \textcircled{3} \end{cases}$$
  
 $\textcircled{2} - \textcircled{1}$  より,  $a = -5$   
 $\textcircled{3} - \textcircled{1}$  より,  $b = -3$   
 $\textcircled{1}$  に  $a = -5, b = -3$  を代入して  
 $-10 - 3 + c = -5$ , すなわち,  $c = 8$  よって, 求める方程式は,  
 $x^2 + y^2 - 5x - 3y + 8 = 0$

410  $A(-3, 2), B(5, -6)$ , 条件を満たす点を  $P(x, y)$  とすると  
 $PA : PB = 1 : 3$

これより,  $3PA = PB$  であるから,  $9PA^2 = PB^2 \dots \textcircled{1}$

ここで

$$PA^2 = (x+3)^2 + (y-2)^2 = x^2 + 6x + y^2 - 4y + 13$$

$$PB^2 = (x-5)^2 + (y+6)^2 = x^2 - 10x + y^2 + 12y + 61$$

これらを  $\textcircled{1}$  に代入して

$$9(x^2 + 6x + y^2 - 4y + 13) = x^2 - 10x + y^2 + 12y + 61$$

$$9x^2 + 54x + 9y^2 - 36y + 117 = x^2 - 10x + y^2 + 12y + 61$$

$$8x^2 + 64x + 8y^2 - 48y + 56 = 0$$

$$x^2 + 8x + y^2 - 6y + 7 = 0$$

$$(x+4)^2 - 16 + (y-3)^2 - 9 + 7 = 0$$

$$(x+4)^2 + (y-3)^2 = 18$$

$$(x+4)^2 + (y-3)^2 = (3\sqrt{2})^2$$

逆に, この図形上の任意の点は条件を満たす.

よって, 求める軌跡は

中心  $(-4, 3)$ , 半径  $3\sqrt{2}$  の円である.

411 短軸の長さを  $2b$  とすると

$$\sqrt{3^2 - b^2} = \sqrt{2} \text{ より, } b^2 = 9 - 2 = 7$$

よって, 楕円の方程式は

$$\frac{x^2}{3^2} + \frac{y^2}{7} = 1$$

$$\frac{x^2}{9} + \frac{y^2}{7} = 1$$

412 求める楕円の方程式を,  $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$  とおくと, この楕円が与えられた 2 点を通ることより

$$\begin{cases} \frac{4^2}{a^2} + \frac{2^2}{b^2} = 1 \\ \frac{(-6)^2}{a^2} + \frac{1^2}{b^2} = 1 \end{cases}$$

整理すると

$$\begin{cases} 4a^2 + 16b^2 = a^2b^2 \dots \textcircled{1} \\ a^2 + 36b^2 = a^2b^2 \dots \textcircled{2} \end{cases}$$

$$\textcircled{1} - \textcircled{2} \text{ より, } 3a^2 - 20b^2 = 0$$

$$\text{すなわち, } b^2 = \frac{3}{20}a^2 \dots \textcircled{3}$$

これを  $\textcircled{1}$  に代入して

$$4a^2 + 16 \cdot \frac{3}{20}a^2 = a^2 \cdot \frac{3}{20}a^2$$

$$4a^2 + \frac{12}{5}a^2 = \frac{3}{20}a^4$$

$$3a^4 - 128a^2 = 0$$

$$a^2(3a^2 - 128) = 0$$

$$a^2 \neq 0 \text{ より, } a^2 = \frac{128}{3}$$

$$\text{これを } \textcircled{3} \text{ に代入して, } b^2 = \frac{3}{20} \cdot \frac{128}{3} = \frac{32}{5}$$

$$\text{よって, 楕円の方程式は, } \frac{x^2}{\frac{128}{3}} + \frac{y^2}{\frac{32}{5}} = 1$$

$$\text{または, 両辺に 128 をかけて, } 3x^2 + 20y^2 = 128$$

$$\begin{aligned} \text{また, } \sqrt{a^2 - b^2} &= \sqrt{\frac{128}{3} - \frac{32}{5}} \\ &= \sqrt{\frac{640 - 96}{15}} = \sqrt{\frac{544}{15}} \\ &= \sqrt{\frac{16 \cdot 34}{15}} = 4\sqrt{\frac{34}{15}} \end{aligned}$$

であるから, 焦点の座標は,  $(\pm 4\sqrt{\frac{34}{15}}, 0)$

413 方程式は,  $\frac{x^2}{(\sqrt{7})^2} + \frac{y^2}{4^2} = 1$  と表せるから, 焦点の座標は

$$(0, \pm \sqrt{4^2 - (\sqrt{7})^2}) = (0, \pm 3)$$

長軸の長さは,  $2 \cdot 4 = 8$

短軸の長さは,  $2 \cdot \sqrt{7} = 2\sqrt{7}$

414 焦点が  $y$  軸上にあるので, 求める双曲線の方程式は

$$\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = -1$$

とおくことができる.

主軸の長さは 2 であるから

$$2b = 2, \text{ すなわち } b = 1$$

また,  $\sqrt{a^2 + b^2} = \sqrt{5}$  であるから

$$a^2 + 1^2 = 5$$

$$a^2 = 4$$

したがって, 求める双曲線の方程式は

$$\frac{x^2}{4} - \frac{y^2}{1} = -1$$

$$\frac{x^2}{4} - y^2 = -1$$

415 双曲線が点  $(0, 1)$  を通るので, 方程式は  $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = -1$  と

おくことができ,  $x = 0$  のとき,  $y = 1$  であるから,  $-\frac{1}{b^2} = -1$ ,

すなわち,  $b^2 = 1$

漸近線の方程式が  $y = \pm 2x$  であるから,  $\frac{b}{a} = 2$

これより,  $b = 2a$  となるので,  $b^2 = 4a^2$

$$\text{よって, } a^2 = \frac{1}{4}b^2 = \frac{1}{4}$$

したがって, 双曲線の方程式は,  $\frac{x^2}{\frac{1}{4}} - \frac{y^2}{1} = -1$ , すなわち,

$$4x^2 - y^2 = -1$$

また,  $\sqrt{a^2 + b^2} = \sqrt{\frac{1}{4} + 1} = \frac{\sqrt{5}}{2}$  であるから, 焦点の座標は

$$(0, \pm \frac{\sqrt{5}}{2})$$

416 方程式は,  $\frac{x^2}{2^2} - \frac{y^2}{(\sqrt{12})^2} = 1$  と表せるから, 焦点の座標は

$$(\pm \sqrt{2^2 + (\sqrt{12})^2}, 0) = (\pm 4, 0)$$

漸近線の方程式は

$$y = \pm \frac{\sqrt{12}}{2}x$$

$$y = \pm \frac{2\sqrt{3}}{2}x$$

$$y = \pm \sqrt{3}x$$

417 求める放物線の方程式は,  $x^2 = 4 \cdot 2 \cdot y$  であるから,  $x^2 = 8y$

418  $y^2 = 4 \cdot (-\frac{1}{4}) \cdot y$  より, 焦点の座標は,  $(-\frac{1}{4}, 0)$ , 準線の方

程式は,  $x = \frac{1}{4}$

419 直線の方程式は,  $x = p$  であるから, こ

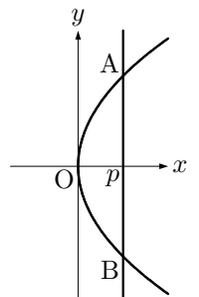
れを  $y^2 = 4px$  に代入して

$$y^2 = 4p \cdot p$$

$$y^2 = 4p^2$$

$$y = \pm 2p$$

よって,  $AB = 2p - (-2p) = 4p$



420 求める直線の方程式を  $y = mx + n$  とおく.

これを  $y^2 = 4px$  に代入して

$$(mx+n)^2 = 4px$$

$$m^2x^2 + 2mnx + n^2 = 4px$$

$$m^2x^2 + 2(mn-2p)x + n^2 = 0$$

放物線と直線が接するのは、この方程式が2重解をもつとき、すなわち  $D=0$  のときであるから

$$\frac{D}{4} = (mn-2p)^2 - m^2n^2$$

$$= m^2n^2 - 4mnp + 4p^2 - m^2n^2$$

$$= -4mnp + 4p^2 = 0$$

$m \neq 0, p \neq 0$  であるから、 $n = \frac{p}{m}$

よって、 $y = mx + \frac{p}{m}$

421 接線の方程式は、 $1 \cdot x + 3 \cdot y = 10$ 、すなわち、 $x + 3y = 10$  であるから、これを  $y$  について解いて

$$y = -\frac{1}{3}x + \frac{10}{3}$$

よって、傾きは  $-\frac{1}{3}$ 、切片は  $\frac{10}{3}$

422 (1)  $y$  軸の左側  $\dots x < 0$   
 $x$  軸の上側  $\dots y > 0$   
 直線  $y = x + 1$  の下側  $\dots y < x + 1$

よって、 $\begin{cases} x < 0 \\ y > 0 \\ y < x + 1 \end{cases}$

(2) 直線  $y = -x - 2$  の上側  $\dots y > -x - 2$   
 円  $x^2 + y^2 = 4$  の内側  $\dots x^2 + y^2 < 4$

よって、 $\begin{cases} y > -x - 2 \\ x^2 + y^2 < 4 \end{cases}$

(3) 放物線  $y^2 = -4x$  の左側  $\dots y^2 < -4x$   
 楕円  $\frac{x^2}{5^2} + \frac{y^2}{4^2} = 1$  の内側  $\dots \frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{16} < 1$

よって、 $\begin{cases} y^2 < -4x \\ \frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{16} < 1 \end{cases}$

### STEP UP

423 (1)  $\begin{cases} (x-3)^2 + (y-4)^2 = 4 & \dots \textcircled{1} \\ y = x + 3 & \dots \textcircled{2} \end{cases}$  とする。

② を ① に代入して

$$(x-3)^2 + \{(x+3)-4\}^2 = 4$$

これを解くと

$$(x-3)^2 + (x-1)^2 = 4$$

$$x^2 - 6x + 9 + x^2 - 2x + 1 = 4$$

$$2x^2 - 8x + 6 = 0$$

$$x^2 - 4x + 3 = 0$$

$$(x-1)(x-3) = 0$$

よって、 $x = 1, 3$

これらを ② に代入して

$$x = 1 \text{ のとき, } y = 1 + 3 = 4$$

$$x = 3 \text{ のとき, } y = 3 + 3 = 6$$

したがって、交点の座標は、 $(1, 4)$ 、 $(3, 6)$

(2) 求める線分の長さは、(1) の2点間の距離なので

$$\sqrt{(1-3)^2 + (4-6)^2} = \sqrt{8} = 2\sqrt{2}$$

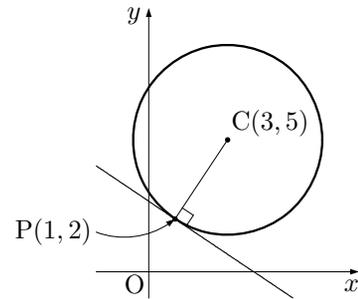
(3) 円の中心の座標は  $(\frac{1+3}{2}, \frac{4+6}{2}) = (2, 5)$

また、円の半径は、(2) の線分の長さの  $\frac{1}{2}$  だから

$$2\sqrt{2} \times \frac{1}{2} = \sqrt{2}$$

よって、求める円の方程式は、 $(x-2)^2 + (y-5)^2 = (\sqrt{2})^2$   
 すなわち、 $(x-2)^2 + (y-5)^2 = 2$

424



円の中心を  $C(3, 5)$ 、接点を  $P(1, 2)$  とすると、接線は直線  $PC$  と垂直に交わる。

直線  $PC$  の傾きは  $\frac{5-2}{3-1} = \frac{3}{2}$

よって、接線は、点  $(1, 2)$  を通り、傾き  $-\frac{2}{3}$  の直線である。

したがって、求める接線の方程式は

$$y - 2 = -\frac{2}{3}(x - 1)$$

$$y = -\frac{2}{3}x + \frac{2}{3} + 2$$

$$y = -\frac{2}{3}x + \frac{8}{3}$$

または

$$2x + 3y - 8 = 0$$

[別解]

教科書 p.193 の 2. の結果を利用すると、求める接線の方程式は

$$(1-3)(x-3) + (2-5)(y-5) = 13$$

これを整理して

$$-2(x-3) - 3(y-5) = 13$$

$$-2x + 6 - 3y + 15 = 13$$

$$2x + 3y - 8 = 0$$

425 円の中心は線分  $AB$  の中点なので

$$(\frac{x_1+x_2}{2}, \frac{y_1+y_2}{2})$$

また、円の半径は、この中心と点  $A$  との距離であるから

$$\sqrt{\left(x_1 - \frac{x_1+x_2}{2}\right)^2 + \left(y_1 - \frac{y_1+y_2}{2}\right)^2}$$

$$= \sqrt{\left\{\frac{2x_1 - (x_1+x_2)}{2}\right\}^2 + \left\{\frac{2y_1 - (y_1+y_2)}{2}\right\}^2}$$

$$= \sqrt{\left(\frac{x_1-x_2}{2}\right)^2 + \left(\frac{y_1-y_2}{2}\right)^2}$$

よって、円の方程式は

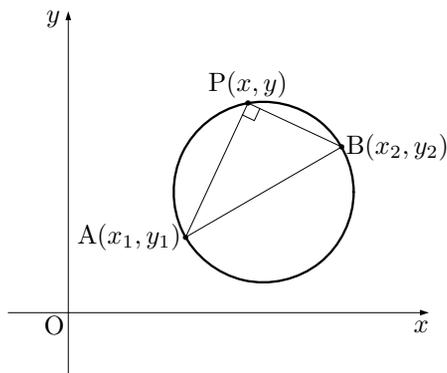
$$\left(x - \frac{x_1+x_2}{2}\right)^2 + \left(y - \frac{y_1+y_2}{2}\right)^2 = \left(\frac{x_1-x_2}{2}\right)^2 + \left(\frac{y_1-y_2}{2}\right)^2$$

これを整理すると

$$\begin{aligned}
 x^2 - (x_1 + x_2)x + \left(\frac{x_1 + x_2}{2}\right)^2 + y^2 - (y_1 + y_2)y + \left(\frac{y_1 + y_2}{2}\right)^2 \\
 = \left(\frac{x_1 - x_2}{2}\right)^2 + \left(\frac{y_1 - y_2}{2}\right)^2 \\
 x^2 - (x_1 + x_2)x + \left(\frac{x_1 + x_2}{2}\right)^2 - \left(\frac{x_1 - x_2}{2}\right)^2 \\
 + y^2 - (y_1 + y_2)y + \left(\frac{y_1 + y_2}{2}\right)^2 - \left(\frac{y_1 - y_2}{2}\right)^2 = 0 \\
 x^2 - (x_1 + x_2)x + \frac{(x_1 + x_2)^2 - (x_1 - x_2)^2}{4} \\
 + y^2 - (y_1 + y_2)y + \frac{(y_1 + y_2)^2 - (y_1 - y_2)^2}{4} = 0 \\
 x^2 - (x_1 + x_2)x + \frac{4x_1x_2}{4} + y^2 - (y_1 + y_2)y + \frac{4y_1y_2}{4} = 0 \\
 x^2 - (x_1 + x_2)x + x_1x_2 + y^2 - (y_1 + y_2)y + y_1y_2 = 0 \\
 \text{よって, } (x - x_1)(x - x_2) + (y - y_1)(y - y_2) = 0
 \end{aligned}$$

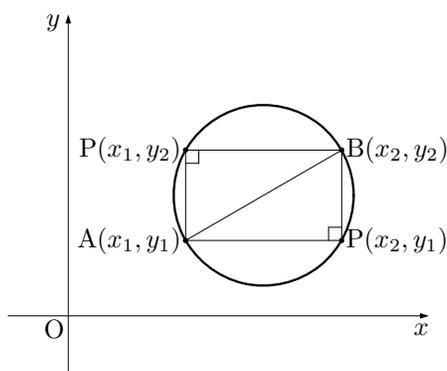
〔別解〕

円周上の点を  $P(x, y)$  とする.



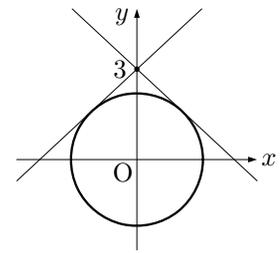
$x \neq x_1$  のとき, 直線 AP の傾きは,  $\frac{y - y_1}{x - x_1}$   
 $x \neq x_2$  のとき, 直線 BP の傾きは,  $\frac{y - y_2}{x - x_2}$   
 線分 AB が直径であるから,  $AP \perp BP$  となるので,  $x \neq x_1$  かつ  $x \neq x_2$  のとき  
 $\frac{y - y_1}{x - x_1} \times \frac{y - y_2}{x - x_2} = -1$   
 これより  
 $\frac{(y - y_1)(y - y_2)}{(x - x_1)(x - x_2)} = -1$   
 $(y - y_1)(y - y_2) = -(x - x_1)(x - x_2)$   
 よって,  $(x - x_1)(x - x_2) + (y - y_1)(y - y_2) = 0 \dots \textcircled{1}$

また,  $x = x_1$  のとき,  $P(x_1, y_2)$  となるので, これは  $\textcircled{1}$  を満たす.  
 同様に,  $x = x_2$  のとき,  $P(x_2, y_1)$  となるので, これも  $\textcircled{1}$  を満たす.



以上より,  $(x - x_1)(x - x_2) + (y - y_1)(y - y_2) = 0$

426(1) (0, 3) を通るこの円の接線は,  $y$  軸と平行にはならないので, 求める接線の傾きを  $m$  とすると, 求める接線の方程式は,  $y - 3 = m(x - 0)$ , すなわち,  $y = mx + 3$  とおくことができる.



これを円の方程式に代入して整理すると

$$\begin{aligned}
 x^2 + (mx + 3)^2 &= 5 \\
 x^2 + m^2x^2 + 6mx + 9 - 5 &= 0 \\
 (m^2 + 1)x^2 + 6mx + 4 &= 0 \dots \textcircled{1}
 \end{aligned}$$

$\textcircled{1}$  の判別式を  $D$  とすると

$$\begin{aligned}
 \frac{D}{4} &= (3m)^2 - (m^2 + 1) \cdot 4 \\
 &= 9m^2 - 4m^2 - 4 \\
 &= 5m^2 - 4
 \end{aligned}$$

曲線と  $y = mx + 3$  が接するための条件は  $D = 0$  であるから,  $5m^2 - 4 = 0$  を解くと

$$\begin{aligned}
 5m^2 &= 4 \\
 m^2 &= \frac{4}{5} \\
 m &= \pm \frac{2}{\sqrt{5}}
 \end{aligned}$$

よって, 接線の方程式は,  $y = \pm \frac{2}{\sqrt{5}}x + 3$

また, 接点の座標は,  $m$  の値を  $\textcircled{1}$  に代入して

i)  $m = \frac{2}{\sqrt{5}}$  のとき

$$\begin{aligned}
 \left(\frac{4}{5} + 1\right)x^2 + 6 \cdot \frac{2}{\sqrt{5}}x + 4 &= 0 \\
 \frac{9}{5}x^2 + \frac{12}{\sqrt{5}}x + 4 &= 0 \\
 \left(\frac{3}{\sqrt{5}}x + 2\right)^2 &= 0
 \end{aligned}$$

よって,  $\frac{3}{\sqrt{5}}x + 2 = 0$  すなわち,  $x = -\frac{2\sqrt{5}}{3}$

これより,  $y = \frac{2}{\sqrt{5}} \cdot \left(-\frac{2\sqrt{5}}{3}\right) + 3 = \frac{5}{3}$

したがって, 接点の座標は,  $\left(-\frac{2\sqrt{5}}{3}, \frac{5}{3}\right)$

ii)  $m = -\frac{2}{\sqrt{5}}$  のとき

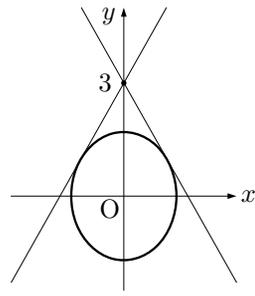
$$\begin{aligned}
 \left(\frac{4}{5} + 1\right)x^2 + 6 \cdot \left(-\frac{2}{\sqrt{5}}\right)x + 4 &= 0 \\
 \frac{9}{5}x^2 - \frac{12}{\sqrt{5}}x + 4 &= 0 \\
 \left(\frac{3}{\sqrt{5}}x - 2\right)^2 &= 0
 \end{aligned}$$

よって,  $\frac{3}{\sqrt{5}}x - 2 = 0$  すなわち,  $x = \frac{2\sqrt{5}}{3}$

これより,  $y = -\frac{2}{\sqrt{5}} \cdot \frac{2\sqrt{5}}{3} + 3 = \frac{5}{3}$

したがって, 接点の座標は,  $\left(\frac{2\sqrt{5}}{3}, \frac{5}{3}\right)$

(2) (0, 3) を通るこの楕円の接線は,  $y$  軸と平行にはならないので, 求める接線の傾きを  $m$  とすると, 求める接線の方程式は,  $y - 3 = m(x - 0)$ , すなわち,  $y = mx + 3$  とおくことができる.



これを楕円の方程式に代入して整理すると

$$\begin{aligned} \frac{x^2}{2} + \frac{(mx+3)^2}{3} &= 1 \\ 3x^2 + 2(m^2x^2 + 6mx + 9) &= 6 \\ 3x^2 + 2m^2x^2 + 12mx + 18 - 6 &= 0 \\ (2m^2 + 3)x^2 + 12mx + 12 &= 0 \dots ① \end{aligned}$$

①の判別式を  $D$  とすると

$$\begin{aligned} \frac{D}{4} &= (6m)^2 - (2m^2 + 3) \cdot 12 \\ &= 36m^2 - 24m^2 - 36 \\ &= 12m^2 - 36 \end{aligned}$$

曲線と  $y = mx + 3$  が接するための条件は  $D = 0$  であるから,  $12m^2 - 36 = 0$  を解くと

$$\begin{aligned} 12m^2 &= 36 \\ m^2 &= 3 \\ m &= \pm\sqrt{3} \end{aligned}$$

よって, 接線の方程式は,  $y = \pm\sqrt{3}x + 3$

また, 接点の座標は,  $m$  の値を ① に代入して

i)  $m = \sqrt{3}$  のとき

$$\begin{aligned} (2 \cdot 3 + 3)x^2 + 12 \cdot \sqrt{3}x + 12 &= 0 \\ 9x^2 + 12\sqrt{3}x + 12 &= 0 \\ 3x^2 + 4\sqrt{3}x + 4 &= 0 \\ (\sqrt{3}x + 2)^2 &= 0 \end{aligned}$$

よって,  $\sqrt{3}x + 2 = 0$  すなわち,  $x = -\frac{2}{\sqrt{3}} = -\frac{2\sqrt{3}}{3}$

これより,  $y = \sqrt{3} \cdot \left(-\frac{2\sqrt{3}}{3}\right) + 3 = 1$

したがって, 接点の座標は,  $\left(-\frac{2\sqrt{3}}{3}, 1\right)$

ii)  $m = -\sqrt{3}$  のとき

$$\begin{aligned} (2 \cdot 3 + 3)x^2 + 12 \cdot (-\sqrt{3})x + 12 &= 0 \\ 9x^2 - 12\sqrt{3}x + 12 &= 0 \\ 3x^2 - 4\sqrt{3}x + 4 &= 0 \\ (\sqrt{3}x - 2)^2 &= 0 \end{aligned}$$

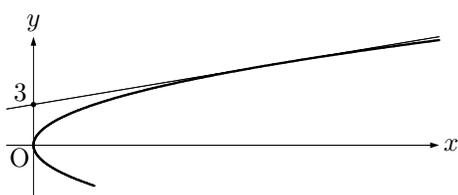
よって,  $\sqrt{3}x - 2 = 0$  すなわち,  $x = \frac{2}{\sqrt{3}} = \frac{2\sqrt{3}}{3}$

これより,  $y = -\sqrt{3} \cdot \frac{2\sqrt{3}}{3} + 3 = 1$

したがって, 接点の座標は,  $\left(\frac{2\sqrt{3}}{3}, 1\right)$

(3)  $(0, 3)$  を通るこの放物線の接線で,  $y$  軸と平行なものは,  $x = 0$  であり, 接点は,  $(0, 0)$  である.

また,  $y$  軸と平行にはならない接線の傾きを  $m$  とすると, 求める接線の方程式は,  $y - 3 = m(x - 0)$ , すなわち,  $y = mx + 3$  とおくことができる.



これを放物線の方程式に代入して整理すると

$$\begin{aligned} (mx+3)^2 &= 2x \\ m^2x^2 + 6mx + 9 - 2x &= 0 \\ m^2x^2 + (6m-2)x + 9 &= 0 \\ m^2x^2 + 2(3m-1)x + 9 &= 0 \dots ① \end{aligned}$$

①の判別式を  $D$  とすると

$$\begin{aligned} \frac{D}{4} &= (3m-1)^2 - m \cdot 9 \\ &= 9m^2 - 6m + 1 - 9m \\ &= -6m + 1 \end{aligned}$$

曲線と  $y = mx + 3$  が接するための条件は  $D = 0$  であるから,  $-6m + 1 = 0$  を解くと

$$\begin{aligned} -6m &= -1 \\ m &= \frac{1}{6} \end{aligned}$$

よって, 接線の方程式は,  $y = \frac{1}{6}x + 3$

また, 接点の座標は,  $m$  の値を ① に代入して

$$\begin{aligned} \frac{1}{36}x^2 + 2\left(3 \cdot \frac{1}{6} - 1\right)x + 9 &= 0 \\ \frac{1}{36}x^2 - x + 9 &= 0 \\ x^2 - 36x + 9 \cdot 36 &= 0 \\ (x-18)^2 &= 0 \end{aligned}$$

よって,  $x = 18$

これより,  $y^2 = 2 \cdot 18 = 36$

$y > 0$  より,  $y = 6$

したがって, 接点の座標は,  $(18, 6)$

427 (1) 与えられた不等式は

$$\begin{cases} x + 2y > 0 \\ 3x - y - 2 < 0 \end{cases} \quad ①$$

または

$$\begin{cases} x + 2y < 0 \\ 3x - y - 2 > 0 \end{cases} \quad ②$$

と同値である.

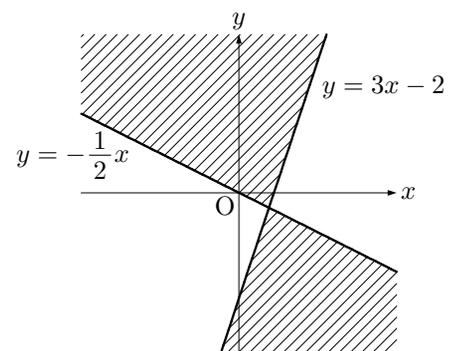
①の表す領域は

$$\begin{aligned} x + 2y > 0 \text{ より, } y &> -\frac{1}{2}x \\ 3x - y - 2 < 0 \text{ より, } y &> 3x - 2 \end{aligned}$$

また, ②の表す領域は

$$\begin{aligned} x + 2y < 0 \text{ より, } y &< -\frac{1}{2}x \\ 3x - y - 2 > 0 \text{ より, } y &< 3x - 2 \end{aligned}$$

以上より, 求める領域は, 図の斜線部分である. ただし, 境界は含まない.



(2) 与えられた不等式は

$$\begin{cases} x^2 - y \geq 0 \\ x - y + 2 \geq 0 \end{cases} \quad ①$$

または

$$\begin{cases} x^2 - y \leq 0 \\ x - y + 2 \leq 0 \end{cases} \quad ②$$

と同値である.

①の表す領域は

$$x^2 - y \geq 0 \text{ より, } y \leq x^2$$

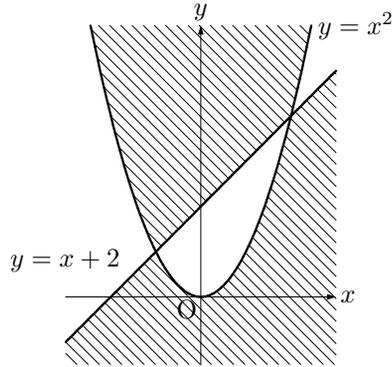
$$x - y + 2 \geq 0 \text{ より, } y \leq x + 2$$

また, ②の表す領域は

$$x^2 - y \leq 0 \text{ より, } y \geq x^2$$

$$x - y + 2 \leq 0 \text{ より, } y \geq x + 2$$

以上より, 求める領域は, 図の斜線部分である. ただし, 境界を含む.

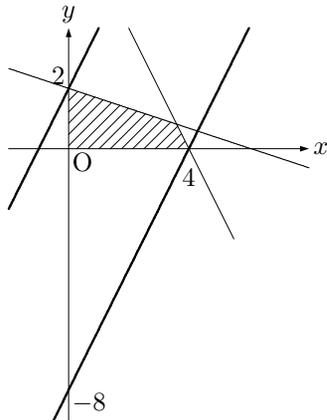


428  $y - 2x = k$  とおくと,  $y = 2x + k \dots$  ①

(1)  $2x + y \leq 8$  より,  $y \leq -2x + 8$

$$x + 3y \leq 6 \text{ より, } y \leq -\frac{1}{3}x + 2$$

よって, 連立不等式の領域は図のようになる.

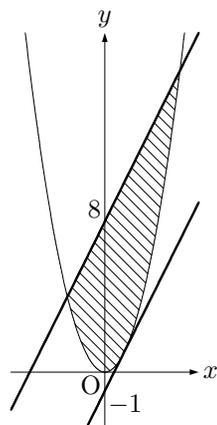


直線 ① が図の領域と共有点を持ち, 切片  $k$  の値が最大となるのは, この直線が点  $(0, 2)$  を通るときであるから, 最大値は  $y - 2x = 2 - 0 = 2$

また, 切片  $k$  の値が最小となるのは, この直線が点  $(4, 0)$  を通るときであるから, 最小値は  $y - 2x = 0 - 2 \cdot 4 = -8$

以上より,  $-8 \leq k \leq 2$  であるから,  $-8 \leq y - 2x \leq 2$

(2) 連立不等式の領域は図のようになる.



直線 ① が図の領域と共有点を持ち, 切片  $k$  の値が最大となるのは, この直線が点  $(0, 8)$  を通るときであるから, 最大

値は  $y - 2x = 8 - 0 = 8$

また, 切片  $k$  の値が最小となるのは, この直線が放物線と接するときである.

$$y = 2x + k \text{ を } y = x^2 \text{ に代入して}$$

$$x^2 = 2x + k$$

$$x^2 - 2x - k = 0$$

この2次方程式の判別式を  $D$  とすると

$$\frac{D}{4} = (-1)^2 - 1 \cdot (-k) = 1 + k$$

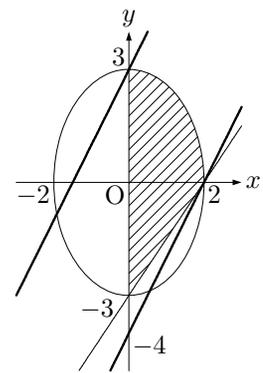
直線と放物線が接するための条件は  $D = 0$  であるから,  $1 + k = 0$  より,  $k = -1$

以上より,  $-1 \leq k \leq 8$  であるから,  $-1 \leq y - 2x \leq 8$

(3)  $9x^2 + 4y^2 \leq 36$  より,  $\frac{x^2}{4} + \frac{y^2}{9} \leq 1$

$$3x \leq 2y + 6 \text{ より, } y \geq \frac{3}{2}x - 3$$

よって, 連立不等式の領域は図のようになる.



直線 ① が図の領域と共有点を持ち, 切片  $k$  の値が最大となるのは, この直線が点  $(0, 3)$  を通るときであるから, 最大値は  $y - 2x = 3 - 0 = 3$

また, 切片  $k$  の値が最小となるのは, この直線が点  $(2, 0)$  を通るときであるから, 最小値は  $y - 2x = 0 - 2 \cdot 2 = -4$

以上より,  $-4 \leq k \leq 3$  であるから,  $-4 \leq y - 2x \leq 3$

429 点  $P$  の座標を  $(X, Y)$  とすると, 点  $P$  は双曲線上の点なので

$$\frac{X^2}{a^2} - \frac{Y^2}{b^2} = 1$$

$$\text{これより, } Y^2 = \frac{b^2}{a^2}X^2 - b^2$$

また,  $c = \sqrt{a^2 + b^2}$  より,  $c^2 = a^2 + b^2$  であるから,  $c^2 - b^2 = a^2$

$$PF = \sqrt{(X - c)^2 + Y^2}$$

$$= \sqrt{X^2 - 2cX + c^2 + Y^2}$$

$$= \sqrt{X^2 - 2cX + c^2 + \frac{b^2}{a^2}X^2 - b^2}$$

$$= \sqrt{\left(1 + \frac{b^2}{a^2}\right)X^2 - 2cX + (c^2 - b^2)}$$

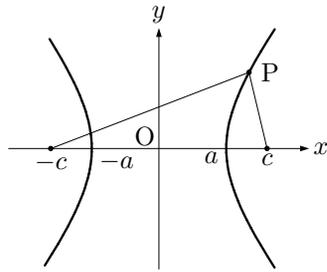
$$= \sqrt{\frac{a^2 + b^2}{a^2}X^2 - 2cX + a^2}$$

$$= \sqrt{\frac{c^2}{a^2}X^2 - 2cX + a^2}$$

$$= \sqrt{\left(\frac{c}{a}X - a\right)^2} = \left|\frac{c}{a}X - a\right|$$

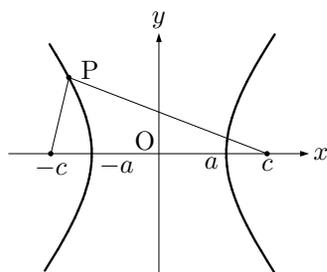
$$\begin{aligned}
 PF' &= \sqrt{(X+c)^2 + Y^2} \\
 &= \sqrt{X^2 + 2cX + c^2 + Y^2} \\
 &= \sqrt{X^2 + 2cX + c^2 + \frac{b^2}{a^2}X^2 - b^2} \\
 &= \sqrt{\left(1 + \frac{b^2}{a^2}\right)X^2 + 2cX + (c^2 - b^2)} \\
 &= \sqrt{\frac{a^2 + b^2}{a^2}X^2 + 2cX + a^2} \\
 &= \sqrt{\frac{c^2}{a^2}X^2 + 2cX + a^2} \\
 &= \sqrt{\left(\frac{c}{a}X + a\right)^2} = \left|\frac{c}{a}X + a\right|
 \end{aligned}$$

i)  $X > 0$  のとき



$X \geq a, a > 0, c > 0$  より,  $\frac{c}{a}X \geq c$   
 また,  $c > a$  であるから  
 $\frac{c}{a}X \geq c > a$ , すなわち,  $\frac{c}{a}X > a$   
 よって,  $\frac{c}{a}X - a > 0$  であるから  
 $PF = \left|\frac{c}{a}X - a\right| = \frac{c}{a}X - a$   
 また,  $\frac{c}{a}X \geq c > 0, a > 0$  より,  $\frac{c}{a}X + a > 0$   
 よって,  $PF' = \left|\frac{c}{a}X + a\right| = \frac{c}{a}X + a$   
 以上より  
 $PF - PF' = \frac{c}{a}X - a - \left(\frac{c}{a}X + a\right)$   
 $= -2a$

ii)  $X < 0$  のとき



$X \leq -a, a > 0, c > 0$  より,  $\frac{c}{a}X \leq -c$   
 また,  $-c < -a$  であるから  
 $\frac{c}{a}X \leq -c < -a$ , すなわち,  $\frac{c}{a}X < -a$   
 よって,  $\frac{c}{a}X + a < 0$  であるから  
 $PF' = \left|\frac{c}{a}X + a\right| = -\frac{c}{a}X - a$   
 また,  $\frac{c}{a}X \leq -c < 0, -a < 0$  より,  $\frac{c}{a}X - a < 0$   
 よって,  $PF = \left|\frac{c}{a}X - a\right| = -\frac{c}{a}X + a$   
 以上より  
 $PF - PF' = -\frac{c}{a}X + a - \left(-\frac{c}{a}X - a\right)$   
 $= 2a$

i), ii) より,  $|PF - PF'| = 2a$

## PLUS

430 (1) 求める点の座標を  $(x, y)$  とすると,

$$\begin{aligned}
 x &= \frac{-2 \cdot 5 + 3 \cdot (-5)}{3 - 2} \\
 &= -10 - 15 = -25 \\
 y &= \frac{-2 \cdot 7 + 3 \cdot (-3)}{3 - 2} \\
 &= -14 - 9 = -23
 \end{aligned}$$

よって, 求める座標は,  $(-25, -23)$

(2) 求める点の座標を  $(x, y)$  とすると,

$$\begin{aligned}
 x &= \frac{-3 \cdot 5 + 2 \cdot (-5)}{2 - 3} \\
 &= \frac{-15 - 10}{-1} = 25 \\
 y &= \frac{-3 \cdot 7 + 2 \cdot (-3)}{2 - 3} \\
 &= \frac{-21 - 6}{-1} = 27
 \end{aligned}$$

よって, 求める座標は,  $(25, 27)$

(3) 求める点の座標を  $(x, y)$  とすると,

$$\begin{aligned}
 x &= \frac{-2 \cdot 5 + 5 \cdot (-5)}{5 - 2} \\
 &= \frac{-10 - 25}{3} = -\frac{35}{3} \\
 y &= \frac{-2 \cdot 7 + 5 \cdot (-3)}{5 - 2} \\
 &= \frac{-14 - 15}{3} = -\frac{29}{3}
 \end{aligned}$$

よって, 求める座標は,  $\left(-\frac{35}{3}, -\frac{29}{3}\right)$

(4) 求める点の座標を  $(x, y)$  とすると,

$$\begin{aligned}
 x &= \frac{-5 \cdot 5 + 2 \cdot (-5)}{2 - 5} \\
 &= \frac{-25 - 10}{-3} = \frac{35}{3} \\
 y &= \frac{-5 \cdot 7 + 2 \cdot (-3)}{2 - 5} \\
 &= \frac{-35 - 6}{-3} = \frac{41}{3}
 \end{aligned}$$

よって, 求める座標は,  $\left(\frac{35}{3}, \frac{41}{3}\right)$

431 点 C の座標を  $(x, y)$  とすると

$$\begin{aligned}
 x &= \frac{-4 \cdot 15 + 7 \cdot 22}{7 - 4} \\
 &= \frac{-60 + 154}{3} = \frac{94}{3} \\
 y &= \frac{-4 \cdot 37 + 7 \cdot (-14)}{7 - 4} \\
 &= \frac{-148 - 98}{3} = -\frac{246}{3}
 \end{aligned}$$

よって, 点 C の座標は,  $\left(\frac{94}{3}, -\frac{246}{3}\right)$

求める点の座標を  $(X, Y)$  とすると

$$\begin{aligned}
 X &= \frac{4 \cdot 15 + 3 \cdot \frac{94}{3}}{3 + 4} \\
 &= \frac{60 + 94}{7} = \frac{154}{7} = 22 \\
 Y &= \frac{4 \cdot 37 + 3 \cdot \left(-\frac{246}{3}\right)}{3 + 4} \\
 &= \frac{148 - 246}{7} = -\frac{98}{7} = -14
 \end{aligned}$$

よって, 求める座標は,  $(22, -14)$